令和4年度

松本市地域包括ケア協議会議事録

松本市地域包括ケア協議会事務局

令和4年度 松本市地域包括ケア協議会

次 第

日時：令和4年8月2日（火）
午後7時～
場所：松本市役所大会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 会議事項
 - (1) 協議事項
松本市版リビングウィル（事前指示書）……………（資料1）
 - (2) 報告事項
 - ア 在宅医療・介護連携委員会報告……………（資料2）
 - イ 生活支援体制整備委員会報告……………（資料3）
 - ウ 認知症施策推進協議会報告……………（資料4）
 - エ 地域ケア会議等の在り方について……………（資料5）
 - オ 地域包括ケア協議会のあゆみ……………（資料6）
- 4 その他
- 5 閉会

1 開会 事務局 午後7時 開会を宣言
(委員21名中18名出席)

2 あいさつ 健康福祉部長、協議会長

3 会議事項

(1) 協議事項

松本市版リビングウィル（事前指示書）について

事務局 資料1について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員 意見等なし 承認

(2) 報告事項

ア 在宅医療・介護連携推進事業報告

事務局 資料2について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員 意見等なし

イ 生活支援体制整備事業報告

事務局 資料3について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員 意見等なし

ウ 認知症施策推進協議会報告

事務局 資料4について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員 意見等なし

エ 地域ケア会議等の在り方について

事務局 資料5について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

今後、地域ケアの会議の主管は地域包括支援センターになるということだが、包括の仕事が増えて負担が大きくなるという意見を伺ったことがあるが、いかがか。

事務局 35地区で行っている地域ケア会議は、これまでは地域包括支援センターが主体となって開催してきたが、この会議は地域づくりの一環では、ということから、内部検討会や地域づくりセンターと検討、協議を行った。その結果、今後は地域や地域づくりセンターが主体となって開催することとなり、地域包括支援センターの負担は以前よりも軽減されることになる。

国で定めている地域ケア会議は、地域ケア個別会議（松本市では「個別地域ケア会議」と地域ケア推進会議（市全体の会議）ということになっている。35地区で行っている地域ケア会議は、松本市独自の会議である。今後は地域等が主体となって行っていくことになるが、地域

包括支援センターもこれまで携わってきたことから、引き続き連携、協力していきたい。

オ 地域包括ケア協議会のあゆみ

事務局 資料6について説明

議長 この件に関して、ご意見・ご質問ありますでしょうか。

委員 意見等なし

議長 全体を通じてご意見等ありますでしょうか。

顧問

地域包括ケア協議会のあゆみの年表を作っていただきありがとうございます。最後に説明のあった、地域共生社会をつくる重層的な支援体制というキーワードは、社会福祉法の令和2年の改正で明確になった。今までは、介護保険で高齢者、しかなかったが、その対象とする法律が障害者総合支援法であり、子どもの支援法であり、それから精神障害者支援、となった。今のことを実現するのに、先ほどケア会議のところで説明があったように、今まで介護保険や地域包括ケアで培ってきた人材やノウハウ、知恵を、今度は障がい者支援、こども支援に応用していくことになるが、やはりここが一番進んでいると思う。そういう視点を持っていきたい。

地域包括支援センターのあり方も、ただ仕事を全部そこへ持っていくと、一時大混乱した時のようになってしまうので、やるときは予算と人員を用意しなければいけないが、そういうところを充実させる。それからケアマネジャーさんたちの職種を、高齢者だけではなく、障害者の支援員ですかね、そういう職種まで広げていく。それから訪問看護の力を幅広く使う。在宅医療も。そのような発想が必要だろうと思うので、そういうものはぜひこの協議会から社会福祉審議会に持って行ってほしい。国が言う形としては、地域共生社会、重層的支援体制、とても綺麗だが、これを実現させるには大変苦労だろうと思う。地域包括ケア協議会、地域包括ケアが培ったものを、そういう領域に広げていくというような考え方については、現時点ではどのように考えているか、教えていただきたい。

事務局

重層的支援体制整備事業の実施については、全ての内容を来年4月から一斉にできるわけではなく、少しずつ、地域共生、重層的支援体制の方に振り向けるように、庁内の組織、健康福祉部内の体制を整えることを考えている。具体的には、医療と介護の連携と生活支援のことについては、連携はするが課を分けてもう少し専門的に取り組めるよう検討したり、こども分野や障がい分野は、組織の中で横ぐしをさせる体制になるように検討している。

あとは、外部の専門の皆様方とこれまで以上にどうやって手を携えていくかということで、社会福祉審議会には、先ほどの41ページの図式を基にご意見をいただいている。おそらく今年1年では答えが出ないことだと思っているので、何年かかけて松本市らしい支援体制につい

て検討していく。長野県の中では、飯田市と伊那市がスタートさせていて、県外では大阪市が始めている。全国的に取り組み始めているので、松本に合ったものを考えていきたいと思っている。ご協力をお願いしたい。

議長 他に意見等なし
以上で、本日の会議事項は、すべて終了しました。

4 その他 事務局 事務連絡等

顧問 みなさまにチラシをお配りしたが、長尾和宏先生原作の在宅医療を扱った映画「痛くない死に方」が、塩尻市の東座で、9月17日から9月23日までの1週間上映される。最初のほうは、少し辛くなるような、あまり良くない在宅医療を厳しく描いているが、なかなか良いストーリーで、見る価値があると思う。

また、最終日の9月23日の13時から、長尾先生が塩尻に来て、東座で講演してくれるので紹介した。オンラインの方には後日資料をお配りするのでよろしくお願いします。

資料の年表を見ながら、平成26年頃、協議会を立ち上げた頃を思い出した。先日、今年退職された当時の課長と話をしたが、あの頃は、この地域包括ケアをやるのに、国から来たのは、自治体出てこい、医師会出てこいでした。それをどうするかということ、当時いろいろディスカッションした。街づくり、地域作りが大事だということや、それも大切だけど、医療介護の専門職、多職種の連携こそが骨格だというような、そんな意見を戦わせながら、そこから、二つの委員会ができたというような状況もあったと思う。

今日のまとめを拝見して、この8年間でやってきたことは、どこへ出しても、先進と言われる都市にも、全然負けないというレベルになっていると思う。

例えば塩尻市などは今、リビングウィルの勉強をしたいので話をしてほしいと、塩筑の医師会に話があったり、塩尻のある地区からは、地域包括ケアを地区としてやりたいが、開業医が1人もいない、医療機関が一軒もないのでどうしようかという相談があり、今度レクチャーをしに行くのだが、いろんな所がそのような状況。

今回の本協議会のメンバーを務めてくださった方、また、社会福祉審議会でも重要な役割を果たしてくださる皆様がたくさんいらっしゃると思う。この協議会でやってきたことを、また新しい形で、新しいメンバーで、市の新しい組織で作っていただきたいと思います。本当に感無量です。8年間ありがとうございました。顧問という立場で参加させていただいたが、御礼申し上げて一言とさせていただきます。ありがとうございました。

副会長 確か、この協議会が始まったのは介護保険の5期が始まる時だったかと思う。現在は8期の2年目だが、5期のスタートの時は、地域支援事業が本格的に始まった時。介護給付と予防給付と地域支援事業という三つの大枠があって、地域支援事業を介護保険制度の中できちっと位置づけてスタートした時に、この地域包括ケア協議会をやっていくこととなった。私はいつも意識していたが、そのときのキーは、地域の医師の先生達とともに展開をしていくということ、そこの接点を、この地域包括ケア協議会で育てていこうということがスタートだったと認識をしていて、そこに関係する団体、医療福祉の団体だけではなく、農協、民生委員の方、地区の方、専門職の団体の方、PT OT医師会も当然ですが、そのような人たちが集まって進めていこうというところからスタートをしたが、その観点での成果は何だったかというところを、きちっと集約をする必要があるのではないかと思う。

なかなか、やろうと言ってもできないし、介護保険における制度の流れを読みながら私達も取り組んできたということもあって、現在8期だが、9期10期の今後をどう読むのかというところで、やはり市の政策を打っていく必要があるのではないかと思ったりもする。これは今後の皆様方の取り組みに期待できるのかなと思う。そういった観点で、この協議会の約10年間の意義というものもあるのではないかと、最後に一言コメントさせていただいた。ありがとうございました。

5 閉会 事務局 午後8時20分 閉会を宣言

あゆみの年表ですが、なかなか書ききれないことが多く、抜けてしまっていることもあるのではと思う。様々な講演会やイベントのときには、委員の皆様等にもお願いをして、いろんな方に発表していただいた。載せきれないところがちょっと心苦しいですが、お許しいただければと思う。また本日は長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。

8年間の中で、期間は色々だったかと思うが、本協議会の委員として、各団体の皆様、そして市民を代表してご参加いただいた代表の皆様、本当にありがとうございました。それでは、本協議会はこれで閉会とします。ありがとうございました。